

「ヒーロー」「サンライス」の文字看板

1904（明治 37）年に煙草産業が専売化される以前、煙草の製造・販売で成功した人に京都出身の村井吉兵衛がいます。煙草により財をなしたことから、煙草王とも呼ばれました。代表的な銘柄に 1891（明治 24）年に発売の始まった「サンライス」、1894（明治 27）年から発売された「ヒーロー」があります。

村井の商売の特徴として、宣伝・広告に力を入れたことがあります。自社で印刷所を作り、箱や広告のデザイン・色彩に力を入れ、他社の製品との差別化を図りました。また、1895（明治 28）年の第四回内国勸業博覧会では、東山の如意ヶ岳の山腹に「ヒーロー」「サンライス」の大きな文字看板を立てて話題となりました。一字が一間（約 1.8 メートル）四方の大きさだったといわれます。

石井行昌撮影写真資料の [No.271](#) は「動物園内」と名付けられた写真ですが、よく見ると、東山の山腹に「ヒーロー」「サンライス」の文字があります。近景の場面を見ると、「名物菊水飴」の看板の掛かるお店があり、屋根の上には「滋賀県聯合売店」と読める文字もあります。菊水飴は滋賀県長浜市余呉町に江戸時代から売られている飴です。



石井行昌撮影写真資料 No.271

つまり、この写真は動物園内ではなく、第四回内国勸業博覧会の写真だといえます。内国勸業博覧会は4月1日から始まりましたが、村井商会の文字看板は天皇の行幸にともない4月末には取り払われていました。そのことから、この写真は1895年4月に写されたことがわかります。

※参考文献 『[たばこ王村井吉兵衛](#)』（大溪元千代著 世界文庫 1964年）

※※石井行昌が写した第四回内国勸業博覧会の写真には、会場門(No.[880](#)、[881](#))、漆喰製雙龍噴水器(No.[907](#))などがあります。それらの写真も人物の服装等から同じく4月頃に撮影されたものではないかと想像されます。

（写真資料から 83 資料課 大塚活美）

（2017年8月31日公開）